

平成28年度  
教育委員会予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・6

1 平成28年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針  
 (1) 平成28年度教育委員会予算要求総括表

【一般会計】

平成28年度要求総額 25,304,777千円  
 (平成27年度当初予算額 24,277,001千円)  
 前年度比 + 4.2% ※職員給与を除く  
 《主な事業》 (単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
(仮称)ふるさと体験事業	9,968	2,511	7,457
リーディングスクール推進事業	8,280	0	8,280
「子どもひまわり学習塾」事業	164,069	133,000	31,069
北九州市学力状況調査事業	63,000	37,500	25,500
学校の読書活動推進事業	109,872	87,800	22,072
学校支援のための市費講師等の配置	771,943	728,900	43,043
私立幼稚園特別支援教育助成事業	14,700	0	14,700
小中学校等空調設備整備事業	3,772,888	797,600	2,975,288
大規模改修事業	624,296	421,900	202,396
耐震補強工事	0	809,700	▲809,700
小中学校建替事業	736,192	2,025,040	▲1,288,848
ひびきの小学校新設事業	3,189,128	757,900	2,431,228
門司総合特別支援学校の整備	107,738	2,618,325	▲2,510,587
子ども図書館整備事業	10,557	0	10,557
小倉南図書館整備事業	496,898	33,354	463,544
学校支援地域本部事業	31,200	26,300	4,900

## (2) 平成28年度教育委員会経営方針

教育委員会では、平成27年11月に策定した「北九州市教育大綱」に基づき、市長と教育委員会で共有した方向性に沿って、子どもの教育を推進する。

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進する。

さらに、「北九州市教育大綱」に掲げられた「市全体で子どもの教育を支える4つの柱」に基づいて、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを進める。

また、生涯学習の分野では、次期生涯学習推進計画の策定を進めている。平成28年度は、改訂初年度となることから、市民への積極的な広報・啓発を行うとともに、計画に掲げる取組みを推進する。

### 子どもの教育に関する分野

#### ① 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

##### ○心の育ちの推進

- ・教育活動全体を通じて児童生徒の道徳的実践力や人権感覚をはぐくみ、規範意識の向上を図るため、道徳教育、体験活動などを充実する。
- ・生徒指導体制の充実などにより、いじめ等の問題行動について未然防止、早期発見に取り組むとともに、早期解決を図る。
- ・北九州市中学生文化芸術祭を開催するなど、子どもたちの豊かな情操を育む。
- ・こども文化パスポート事業の拡充などにより、郷土の文化・歴史等を学び、触れる機会を充実し、子どもたちのふるさと北九州市に対する誇りや愛着を醸成する。

##### ○確かな学力の向上

- ・徹底した授業改善や教員の指導力向上を図り、学習意欲を高める授業づくりを推進する。
- ・子どもひまわり学習塾を拡充し、基礎的・基本的な学力や学習習慣の定着をさらに推進するとともに、本市独自の学力調査を拡充するなど、子どもたちの個に応じたきめ細かい学習指導を通じて、学力の向上を図る。
- ・学校図書館職員の配置やブックヘルパーの活動などによる、学校図書館の機能充実を通して、学校における読書活動を一層推進する。

### ○健やかな体の育成

- ・部活動を通して良好な人間関係の構築を図り、生徒の健全な心と体を育むとともに学校全体での年間を通じた取組みの充実により、運動習慣の定着や体力の向上を図る。
- ・学校給食を生きた教材とし、小・中学校 9 年間を通じて子どもの発達段階に応じた食育指導を引き続き行うとともに、安全・安心で栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食を提供する。

### ○子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ・小学校の授業等においてALTを活用し、また、中学生が自己の英語力を試したりする機会を充実させ、児童生徒の英語を使ったコミュニケーションに対する意欲を高める。
- ・北九州市ならではの特色を活かした環境教育やキャリア教育などを推進し、学んだことと実社会とのつながりを感じ取ることができる教育活動を進め、子どもの意欲を高める。

### ○特別支援教育の充実

- ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、全市民的な視野に立った、特別支援教育の体制整備の在り方について改めて検討していく。
- ・就学前段階からの早期の相談支援体制の充実、スクールカウンセラーや支援員などの外部人材の配置・活用等により、障害のある幼児児童生徒に対する指導・支援体制の一層の推進を図る。
- ・私立幼稚園における特別な支援を必要とする園児の受け入れを促進する制度を構築するなど、幼児期における特別支援教育の充実を図る。

## ② 学校・教職員の力を高める

### ○信頼される学校・園経営の推進

- ・各学校の現状や課題に応じて市費講師を柔軟に活用できる環境づくりを進め、学校・教職員を支援する。
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門スタッフが、教員とともにチームとしてさまざまな教育課題に対応するための「チーム学校」の体制を整備する。
- ・「北九州市いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するとともに、継続して「体罰防止のための手引き」を活用した研修に取り組むことにより、体罰のない学校づくりを進める。

## ○教育環境の整備

- ・子どもたちが快適な環境で学べるよう、小中学校等の普通教室へのエアコン設置を進める。また、大規模改修工事を実施するなど、安全で安心な学校施設を整備する。
- ・新たな「学校規模適正化基準」に基づいて、学校規模適正化に向けた検討を行う。また、ひびきの小学校の新設に向け校舎建設等を進める。

## ③ 家庭・地域の教育力を高める

### ○家庭における教育・生活習慣づくりの充実

- ・家庭教育に関する情報提供、啓発活動を通して、保護者の学ぶ機会の充実を図るとともに、「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用などを通して、家庭での学習習慣等の定着を推進する。

### ○地域と連携した学校運営の実現

- ・経済界との連携による学校支援事業を拡充するなど、経済界等が学校を支援する取組みを進める。また、学校支援地域本部などのさらなる充実を図り、学校教育への地域の参画を促す。

### ○地域における教育活動の充実

- ・地域における教育活動の充実を図るため、関係局とも連携して子ども会などの活動団体への支援、地域や団体活動に多くの市民が参画できる仕組みづくりを推進する。
- ・スマートフォンや携帯電話の利用にかかわる課題などに対して、関係機関が連携し、地域社会全体で対応するとともに、「ケータイ・スマホ夜10時オフ運動」など子どもの意識を高めるための啓発を行う。

## 生涯学習に関する分野

### ① 学びと地域活動が循環する生涯学習社会づくり

#### ○多様な学習機会の充実

- ・市民の生涯学習意欲を高めるとともに、市民一人一人が生きがいと自己実現を実感でき、あわせて住民主体の地域活動を推進するため、生涯学習市民講座など様々な学習機会の提供を充実する。

#### ○地域活動をリードする人材の育成

- ・地域課題解決に向けた講座等を実施し、市民ニーズや社会ニーズを踏まえた地域活動をリードする人材の育成を図る。

## ② 多様な主体のネットワークによる生涯学習の推進

- 学習情報の提供と相談体制の整備
  - ・民間教育事業者等とのネットワークを構築し、総合的な学習情報の提供を図る。
- 学習を支える体制づくりと環境整備
  - ・小倉南図書館や子ども図書館の整備など生涯学習関連施設の整備・充実を図る。

## ③ 子どもの成長への関わりを通して「家庭」や「地域」の力が高まる生涯学習社会づくり

- 学校教育、家庭教育への支援、連携強化
  - ・学校支援地域本部事業等の地域による学校の教育活動への支援を通して、学校と地域との連携の促進を図る。
  - ・地域・子ども交流事業など、子どもの異学年交流や体験活動など地域における教育活動の充実を行い、家庭・地域の教育力の向上を図る。
  - ・すべての教育の出発点である家庭の教育力の向上をめざし、子育てサポーターなどの活動を通じて保護者の不安の軽減を図るとともに、家庭教育に関する保護者への情報提供や啓発活動の充実を図る。
  - ・平成28年度を開始年度とする次期「北九州市子ども読書プラン」に基づいた各種取り組みを実施し、子どもの読書活動の充実を図る。

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### 子どもの教育に関する分野

#### (1) 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

I-1  
継 続

##### ・心の教育推進事業

9,235 千円

##### (事業概要)

いじめや不登校をはじめとした子どもたちの問題行動や、人間関係を築けない児童生徒に対応するため、社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育む道德教育・体験活動を推進する。

I-1  
拡 充

##### ・「北九州市中学生文化芸術祭」開催事業

7,085 千円

(うち拡充分 3,685 千円)

##### (事業概要)

中学生合唱フェスティバルを拡充し、連合音楽会、文化総合発表会と一体の芸術祭として市内各所で順次開催することにより、中学生の文化活動の充実を図るとともに、本市の文化的風土を醸成する。

I-1  
拡 充

##### ・(仮称)ふるさと体験事業

9,968 千円

(うち拡充分 7,457 千円)

##### (事業概要)

本市の文化・歴史・自然などに、より多くの子どもたちが、触れ・学ぶため、「こども文化パスポート事業」を拡充するとともに、学校、子ども、保護者が、さまざまな事業・イベント等を選択・参画できる仕組みを推進する。

I-1  
新 規

##### ・リーディングスクール推進事業

8,280 千円

##### (事業概要)

ICTの活用及び英語教育の分野でリーディングスクールを指定し、先導的・先進的に指導方法の開発・実践を行うとともに、優れた教育実践の市内各校への普及を図る。

I-1  
新規

・幼児教育連携推進事業

12,865 千円

(事業概要)

子どもを健やかに育むため、幼児教育推進員（仮称）を配置し、就学前教育の一層の充実を図るとともに、保育所（園）・幼稚園等の保育環境から小学校の学習環境への円滑な接続を図るためのカリキュラムの研究を行う。

I-1  
拡充

・「子どもひまわり学習塾」事業

164,069 千円

(うち拡充分 31,069 千円)

(事業概要)

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用した学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を拡充して実施する。

I-1  
拡充

・北九州市学力状況調査事業

63,000 千円

(うち拡充分 25,500 千円)

(事業概要)

小学校から中学校まで児童生徒一人一人の学力を継続的に把握・分析し、学力の向上に役立てるための学力調査を拡充して実施し、全国学力・学習状況調査の結果とあわせて、よりきめ細かな指導を行う。

I-1  
新規

・教員の指導力向上

【再掲】 25,009 千円

(事業概要)

学力向上の取組を総合的に行う学校に対して授業力向上のための助言等を行う学力向上推進教員（仮称）を配置する等の支援を行う。また、マイスター教員による授業モデルの動画をWEB配信するなどして、新規採用・若手教員の研修の支援を行い、教員の指導力向上を図る。



I-1  
拡 充

• 学校の読書活動推進事業

109,872 千円  
(うち拡充分 22,072 千円)

(事業概要)

平成 27 年 7 月に施行された「北九州市子ども読書活動推進条例」の規定を踏まえて、子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、中学校区に配置する学校図書館職員等の充実を図り、学校における読書活動を一層推進する。

I-1  
継 続

• 学校支援のための市費講師等の配置事業

【再掲】 771,943 千円

(事業概要)

学力向上やいじめ・非行対策、特別支援教育など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、市費講師等を配置する。

I-1  
拡 充

• 部活動振興事業

124,564 千円  
(うち拡充分 15,346 千円)

(事業概要)

生徒が自分の個性を伸ばし、体力の向上などに大きな役割を果たす部活動を振興するため、外部講師を充実するなど、部活動に参加しやすい環境を整備する。

I-1  
新 規

• 「(仮称)北九州市特別支援教育推進プラン」の策定

2,465 千円

(事業概要)

本市における障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の一層の推進に向けて、課題を整理し、今後の特別支援教育の在り方や方向性を定める「(仮称)北九州市特別支援教育推進プラン」を策定する。

I-1  
拡 充

・特別支援教育を推進する体制の充実

410,490 千円

(うち拡充分 47,652 千円)

(事業概要)

早期支援コーディネーターやスクールカウンセラー等を配置・活用し、特別支援教育に係る相談機能や支援体制の充実を図るとともに、就労支援コーディネーターの配置・活用などにより、将来の自立や社会参加に向けたきめ細かな就労支援を進める。

また、共生社会の実現に向けて、市民の障害者理解を促進し、一人一人の個性や多様性を大切にする意識の向上を図る。

I-1  
新 規

・私立幼稚園特別支援教育助成事業

14,700 千円

(事業概要)

北九州市の幼児期における特別支援教育の充実を図るため、私立幼稚園において特別な教育的支援を必要とする園児の受け入れを促進できるよう支援する。

(2) 学校・教職員の力を高める

I-1  
継 続

・学校支援のための市費講師等の配置事業

771,943 千円

(事業概要)

学力向上やいじめ・非行対策、特別支援教育など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、市費講師等を配置する。

I-1  
新規

・教員の指導力向上

25,009 千円

(事業概要)

学力向上の取組を総合的に行う学校に対して授業力向上のための助言等を行う学力向上推進教員(仮称)を配置する等の支援を行う。また、マイスター教員による授業モデルの動画をWEB配信するなどして、新規採用・若手教員の研修の支援を行い、教員の指導力向上を図る。

I-1  
拡充

・「チーム学校」運営・推進事業

【一部再掲】268,529 千円  
(うち拡充分 3,208 千円)

(事業概要)

学校を取り巻く環境が複雑化し、さまざまな教育課題への対応を迫られる中、特に生徒指導上の諸問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど専門性を持つスタッフを拡充し、教員とともに一つのチームとして学校の教育力を高める。

I-1  
継続

・小中学校等空調設備整備事業

3,772,888 千円

(事業概要)

良好な学習環境を確保するため、小中学校等の普通教室にエアコンを整備する。平成28年度は中学校51校に加え、小学校62校の普通教室等に整備する。

I-1  
継続

・ひびきの小学校新設事業

<債務負担行為 84,945 千円>  
3,189,128 千円

(事業概要)

北九州学術研究都市整備事業の進捗により児童数が急増し、本市の分離新設基準を超えた光貞小学校の教育環境を改善するため、ひびきの小学校の校舎建設等を実施する。

I-1  
継 続

・大規模改修事業

624,296 千円

(事業概要)

安全で安心な学校施設の整備を図るため、築後30年を経過した建物について、経年による機能低下を復旧するための大規模改修工事を実施する。

(3) 家庭・地域の教育力を高める

I-1  
拡 充

・経済界との連携による学校支援事業

7,400 千円

(うち拡充分 1,900 千円)

(事業概要)

経済界と連携することで、企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修などを行い、平成28年度も対象校を拡充して取り組む。

I-1  
拡 充

・学校支援地域本部事業

【再掲】31,200 千円

(うち拡充分 4,900 千円)

(事業概要)

教員が子どもと向き合う時間の確保や地域の教育力の向上を図るため、地域コーディネーターを配置する学校支援地域本部の設置校を拡充し、地域の協力のもと、様々な学校の教育活動を支援する体制づくりを推進する。

I-1  
拡 充

・「子どもひまわり学習塾」事業

【再掲】164,069 千円

(うち拡充分 31,069 千円)

(事業概要)

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用した学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を拡充して実施する。

## 生涯学習に関する分野

### (1) 学びと地域活動が循環する生涯学習社会づくり

I-3  
継 続

#### ・北九州市民カレッジ事業

7,645 千円

(事業概要)

市民の高度で専門的かつ多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供し、自己実現の促進及び生涯学習社会を担う人材の育成を図る。

### (2) 多様な主体のネットワークによる生涯学習の推進

I-3  
新 規

#### ・「学びの環」推進フォーラムの開催

1,500 千円

(事業概要)

平成 28 年度を開始年度とする次期「北九州市生涯学習推進計画」の取り組みを推進するため、学びの成果を生かし、地域や団体の活動、更なる学習に循環させていく「学びの環」づくりを目的としたフォーラムを開催する。また、併せて多様な生涯学習機関のネットワークによる取組みのPRも行う。

I-3  
新 規

#### ・子ども図書館整備事業

＜債務負担行為 15,937 千円＞  
10,557 千円

(事業概要)

平成 27 年 7 月に施行された「北九州市子ども読書活動推進条例」に基づき、子ども図書館を整備するため、整備の指針となる基本計画を策定し、基本・実施設計に着手する。

I-3  
継 続

・小倉南図書館整備推進事業

＜債務負担行為 710,047 千円＞  
496,898 千円

（事業概要）

小倉南区の地区図書館の建設工事に着手するほか、開館に向け図書資料の購入等を行う。

I-3  
継 続

・八幡図書館移転整備事業（開館式典）

3,077 千円

（事業概要）

八幡図書館が移転改築し、平成 28 年 4 月に新規オープンすることに伴い、新しく生まれ変わった八幡図書館を多くの方に知ってもらい、利用していただくため、開館記念式典及び地元にはゆかりのある作家などを招いたイベントを開催する。

（3）子どもの成長への関わりを通して「家庭」や「地域」の力が  
高まる生涯学習社会づくり

I-1  
拡 充

・学校支援地域本部事業

31,200 千円  
（うち拡充分 4,900 千円）

（事業概要）

教員が子どもと向き合う時間の確保や地域の教育力の向上を図るため、地域コーディネーターを配置する学校支援地域本部の設置校を拡充し、地域の協力のもと、様々な学校の教育活動を支援する体制づくりを推進する。

I-3  
新規

・読書で広がる子どもの未来づくり事業

10,418千円

(事業概要)

平成27年7月に施行された「北九州市子ども読書活動推進条例」の目的の一つである“子どもの主体的な読書活動の推進”に向け、子ども自身が考え行動をおこす場となる「北九州市子ども読書会議」を開催する。

また、平成28年度を開始年度とする次期「北九州市子ども読書プラン」に基づいた各種取り組みを行い、子どもの読書活動を推進する。

I-3  
拡充

・はじめての絵本事業

13,605千円

(事業概要)

絵本を母子健康手帳とあわせて贈ることで、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらいながら、絵本を通して早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、子どもが本とふれあうことの大切さを伝える。